

2012年11月27日
mail ニュース
No.4・通巻279

部内資料・都知事選特集

自治労連 都庁職

自治労連都庁職員
労働組合
発行人 風間隆行
TEL 03-5381-0250

都知事選挙第一声(11月29日10時30分より 有楽町マリオン前)に多くの方のご参加を

いよいよ都知事選挙が始まります。自治労連都庁職は11月20日の執行委員会で、「人にやさしい東京をつくる会」から立候補表明をしている宇都宮健児さんの推薦を決定しました。宇都宮さんは「人にやさしい東京」をめざすため、以下の4つの柱を掲げています。

1. 誰もが人らしく生きるために
2. 脱原発を東京から
3. 子どもたちのための教育の再建
4. 憲法がいきる東京に

これらは、私たち都民の切実な声と一致するものであると同時に、石原都政が13年間にわたり、破壊してきた分野・課題です。

「何が贅沢といえはまず福祉」と言い、都立病院を半分に減らし、「日の丸」「君が代」を強制し、「破壊的教育改革」を進めてきた石原前知事から後継指名を受けた人に東京の未来を託すわけにはいきません。

自治労連都庁職は推薦決定と同時に、「都知事選挙への行動提起」を決定し、11月21日の支部代表者会議で支部の皆さんに提起しました。提起に基づき、これまでに衛生局支部、教育庁支部、都立学校支部、港湾支部、養育院支部、都税支部が宇都宮さんの推薦を決定しています。

宇都宮さんは前の日弁連会長で、クレジット・サラ金被害について長年にわたり取り組んできた(宮部みゆき「火車」のモデル)ので、その分野では大変有名な方ですが、都民全体に名を知られた方とは残念ながら言えません。都政を変える絶好のチャンスである今、まわりの有権者に支持を広めて下さい。

大塚にある東京労働会館地下には、11月27日より臨時電話が6台設置されます。ご活用ください。

また、告示日である11月29日10時30分より有楽町マリオン前で、宇都宮健児さんの第一声を聞くことができます。一人でも多くの方が休暇をとってご参加くださるよう、お願いします。

投票日までわずか20日あまり、超短期決戦です。これまで13年間続いた憲法と都民無視の石原都政を継承させるのか、人にやさしい東京をつくることができるのか、大事な大事な選挙です。悔いの残らない取り組みをお願いします。